

資料3-18 三重県における赤潮発生状況（令和6年1月～令和6年12月）

整理番号	発生時期 (月日)	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	発生水深 (m)	最高細胞数 (細胞/ml)	漁業被害	情報源
1	6.3- 6.5	熊野灘北部 (尾鷲湾・ 引本浦)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	6.3に尾鷲湾及び引本浦で <i>H.akashiwo</i> による赤潮が発生。 最高細胞数は、8,150細胞/mL (6.3古 里 0m) で、6.5に終息。	0	8,150	無	三重県水産研究所 尾鷲水産研究室
2	7.1- 10.7	志摩度会 (英虞湾)	<i>Karenia mikimotoi</i> <i>Chattonella spp.</i>	7.1に英虞湾で <i>K.mikimotoi</i> および <i>Chattonella spp.</i> による赤潮が発生。 <i>K.mikimotoi</i> の最高細胞数は、1,090細 胞/mL (8.16 田杭 10.7m)、 <i>Chattonella spp.</i> の最高細胞数は、 492細胞/mL (7.8 神明 2.0m) で 10.7に終息。	<i>K.m.</i> 10.7 <i>C.spp.</i> 2.0	<i>K.m.</i> 1,090 <i>C.spp.</i> 492	無	三重県水産研究所
3	8.8- 9.5	志摩度会 (五ヶ所 湾)	<i>Karenia mikimotoi</i>	<i>K.mikimotoi</i> の発生期間中の最高細胞数 は、8,700細胞/mL (8.16 礪浦湾口部 0m) で、9.5に終息。	0	8,700	無	南伊勢町南島種苗 センター 三重県水産研究所
4	8.21- 9.25	志摩度会 (的矢湾)	<i>Chattonella spp.</i>	<i>Chattonella spp.</i> の最高細胞数は、 402細胞/mL (8.21 坂崎 0.5m) で、 9.25に終息。	0.5	402	無	三重県水産研究所
5	9.18- 9.24	志摩度会 (鳥羽湾)	<i>Mesodinium rubrum</i>	9.18に鳥羽湾で <i>M. rubrum</i> 赤潮が発 生。最高細胞数は129細胞/mL (9.18 桃取沖 0.5m) で、9.24に終息。	0.5	129	無	鳥羽市水産研究所 三重県水産研究所
6	10.25- 10.28	志摩度会 (英虞湾)	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	10.25に英虞湾で <i>H.circularisquama</i> 赤潮が発生。発生期間中の最高細胞数は 106細胞/mL (10.25大明神前 6.5m) で、10.28に終息。	6.5	106	無	三重県水産研究所

【注】

- (1)「整理番号」は、発生時期の順に一連番号を記載した。
- (2)2あるいは3海域にまたがって発生した場合は、各海域のそれぞれに発生したものとして扱った。従って、例えば2つの海域にまたがって発生した場合は、1つの発生に対し  
て2つの整理番号を与え、発生件数は2件とカウントした。
- (3)「発生時期」は、発生が確認された日から消滅日までを記載することを基本としたが、同一海域で発生、消滅（一時的な細胞数の減少）を繰り返したものについては、最初  
の発生から最後の発生まで（完全な赤潮の終息まで）を1単位として記載した。